

宮陵会報 2012・7

# Kyū-Ryō

No.94

発行責任者  
社団法人 宮陵会  
広報委員会

〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学内  
TEL 045-481-5661  
(内線 2451~3)  
FAX 045-413-0791  
印刷所 株式会社 江森印刷所



## Contents No.94

- 平成24年度 第1回代議員会・通常総会開催される…2
- 通常総会で表彰された方々…3
- 準会員ニュース…4
- 全日本大学駅伝6年ぶり出場…5
- 平成24年度 事業計画抜粋・予算…6
- 本部だより・支部だより…7
- 大学ニュース…8

## 学生のための総合的相談窓口

### 「KUスクエア」が今年4月にオープンしました。

人と人、あるいは人と情報をつなぎ、新たな出会いや発見を生み出すコミュニケーションの広場です。学習支援の場として様々なサポート体制を用意し、一人ひとりが自ら学ぶスキルをバックアップします。

# 平成24年度

## 第1回代議員会・通常総会開催のご報告

### 一般社団法人への移行認可申請について承認される

平成24年5月26日(土) 午後1時から神奈川大学16号館セレストホールにて本年度第1回代議員会及び通常総会が開催されました。

#### 代議員会の開催

代議員会は、代議員総数395名の内、出席123名、委任状出席176名の計299名の出席を得て開催されました。武笠健次代議員会議長及び大澤武法代議員会副議長の議事進行により、第1号議案平成23年度収支決算報告について、第2号議案平成24年度事業計画の変更及び補正予算について、第3号議



#### 通常総会の開催

また、通常総会は、出席正会員195名、委任状出席5、169名の合計5、364名の出席を得て開催されました。慣例に従って、会長提案により議長に武笠健次氏、副議長に大澤武法氏が指名され、両氏の議事進行により、第1号議案平成23年度収支決算報告について、第2号議案社団法人宮陵会定款の一部変更について、第3号議案一般社団法人神奈川大学宮陵会総会運営規則の制定並びに社団法人宮陵会定款施行規則の廃止並びに社団法人宮陵会定款施行規則の一部改正等について、第5号議案一般社団法人への移行認可申請について、第6号議案代議員選挙の実施について、第7号議案付帯決議について、第8号議案平成24年度事業計画及び収支予算についてが審議され、第1号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案、第7号議案、第8号議案は原案どおり、第2号議案については、定款変更(案)の附則4に但書を追加

#### 一般社団法人への移行に伴う定款変更の概要

(平成24年度通常総会参考資料抜粋)

せす第6号議案の1趣旨および内容に「(3)今回の選挙に限り正会員の判断基準日を10月1日とする。」を追加する旨の修正提案があり、質疑応答の後、承認されました。  
続いて、本会表彰規程に基づく平成24年度功労表彰者並びに感謝表彰者のうち、本部関係者に会長より表彰状・記念品の授与を行うとともに、支部関係者に対する授与は、各支部総会にて行う旨の説明がなされました。なお、功労表彰者、感謝表彰者の方々につきましては、別表をご参照ください。  
さらに、学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金への寄付、東日本大震災にかかる罹災学生への奨学支援に対する寄付についての目録を会長より学校法人神奈川大学伊藤文保理事長に贈呈いたしました後に、学校法人神奈川大学伊藤文保理事長、神奈川大学中島三千男学長よりご挨拶を頂き、通常総会を終了いたしました。  
通常総会終了後は、会場を1号館8階にうつして懇親会を行い、午後7時に全日程を終了しました。

#### 通常総会の開催

1. 名称について  
一般社団法人神奈川大学宮陵会とします。  
現在の宮陵会では、どのような団体か理解いただけない場合が多く、神奈川大学宮陵会もしくは神奈川大学校友会と名乗ることが多くあり、この機会に名称を変えます。  
2. 会員資格について  
この法人の会員の種別及び資格は、次のとおりとします。  
ロ 横浜専門学校を卒業した者  
神奈川大学、同大学院及び神奈川大学短期大学部を卒業した者(大学院博士後期課程単位取得後退学を含む)  
ハ イ及びロに掲げる学校に在学した者で理事会で入会を承認された者  
ハ 普通会員 正会員の資格を有する者のうちで会費未納中の者と所在不明の者等

- (1) 正会員イ 横浜専門学校を卒業した者  
ロ 神奈川大学、同大学院及び神奈川大学短期大学部を卒業した者(大学院博士後期課程単位取得後退学を含む)  
ハ イ及びロに掲げる学校に在学した者で理事会で入会を承認された者
- (2) 準会員 神奈川大学及び同大学院に在学する者
- (3) 普通会員 正会員の資格を有する者のうちで会費未納中の者と所在不明の者等
- (4) 賛助会員 この法人の目的に賛同して入会の上し込みをし、理事会で入会を承認された者
- (5) 特別会員 学識経験者などで、理事会で推薦を受けた者
- 3. 社員総会(総会) について  
現在の代議員会、総会に代わり社員総会(総会)を年1回6月に開催します。臨時社員総会(総会)は、必要に応じて随時開催します。この社員とは、正会員から選出された代議員とします。
- 4. 代議員制の採用について  
(1) 代議員をもって、この法人の「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」(「法人法」という。)上の社員とします。  
一般社団法人では、社員総会が最高議決機関となります。原則は、会員が社員になります。ただし、社員総会の普通決議の決議要件(定足数)について、法の規定は、「総社員の議決権の過半数を有する社員の出席」となっております。本会では、約

20万人の会員の過半数の出席、もしくは委任状が必要になり、社員総会の決議要件を満たすことは、非常に困難です。したがって、本会では、「会費を納めた正会員の中から社員を選出するための選挙を行い、当該選挙により選出された者を任期付の社員とする。」いわゆる代議員制を採用します。

代議員定数は、年度当初の概ね正会員300人に1人とし、180人としております。

(2) 法人移行日(登記日)平成25年4月1日(予定)までに、上記の趣旨を踏まえた方法により、新たな代議員(社員)を選出しておく必要があり、この新たな代議員は平成23年度総会で選出された現代議員と法人移行日で交代することとなります。

**5. 役員(理事、監事)について**

(1) 理事、監事は、総会の決議によって、社員(代議員)の中から選出します。

移行後の最初の選出は、移行後最初の社員総会(総会)となる平成25年6月に行います。

(2) 役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうちに、最終のものに関する定時総会の終結の時までとします。また、再任を妨げません。

**6. 社員総会(総会)での決議事項について**

従来代議員会、総会での決議事項であった、事業計画、収支予算案は、理事会での決議事項になります。したがって、社員総会(総会)では、事業報告の決議、収支決算報告の承認、その他定款ならびに法令に定める事項を決議します。

**7. 一般社団法人移行後の支部の位置づけについて**

一般社団法人に移行後、定款上に支部を位置づけした場合、支部の事業、経理は本部と一体のものとして、事業報告、計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書等)は支部も含めて法人全体のものを作成しなければならなくなります。しかし、支部を含めたものを作成することは、現状では非常に困難で、

支部にとりましても過大な負担になります。したがって、定款上には支部を位置づけず、独立した法人格(人格なき社団)を異にするものとして位置づけます。

(1) 地域組織(支部)の名称について  
名称の中に一般社団法人を名乗ることはできなくなります。したがって、地域組織の名称は、本部の許可を受けて次のようになります。例えば、神奈川大学○○県宮陵会とすることを考えております。一般社団法人神奈川大学宮陵会○○支部と名乗ることはできません。移行後は、行政単位都道府県、市、区名を入れた名称に統一する予定です。

(2) 地域組織(支部)の活動助成について

地域組織(支部)の事業につきましては、本会の目的を達成するため、並びに会員相互の親睦と連携強化を図ることとし、全国各地で活動する会員組織(支部)に助成金を従来どおり交付する予定です。内容は、一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規則に定めます。今後とも助成金の内容を充実させていきます。

**8. 代議員選挙について**

平成24年度通常総会で議決された定款、代議員選任規程、代議員選挙管理委員会規程に準拠して、代議員選挙を実施します。代議員選挙の関連日程(予定)以下のとおりです。

平成24年  
8月1日 代議員の選挙公示 会報発送に同封  
10月1日(14日) 代議員立候補受付 郵送にて受付  
12月1日 代議員立候補者の公示、投票用紙等会報発送に同封  
平成25年  
1月15日 代議員選挙投票締切(必着)  
1月16日(30日) 選挙管理委員会 開票作業  
2月1日 当選者発表

**表彰者芳名**

**■功勞表彰(表彰規程第2条第2号該当)**

**【本部関係】**

新井 三夫氏  
昭和33年法経学部貿易学科卒業  
元副会長

磯邊 晃氏  
昭和35年法経学部経済学科卒業  
元副会長・理事・代議員会議長

秋田 琢次氏  
昭和33年工学部電気工学科卒業  
元副会長・専務理事・理事・体育振興委員長  
小坂谷 義夫氏  
昭和41年法学部法律学科卒業  
元理事

**【支部関係】**

福岡 勝夫氏  
昭和42年法学部法律学科卒業  
元岩手支部支部長・副支部長・幹事長  
渡辺 光男氏  
昭和33年法経学部経済学科卒業  
元藤沢支部支部長・副支部長

岩崎 幸雄氏  
昭和20年経済科卒業  
元南区支部支部長

**■感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)**

**【本部関係】**

渡邊 武氏  
昭和33年法経学部経済学科卒業・平成16年経済学研究科経済学専攻博士前期  
元監事  
渡辺 静雄氏  
昭和50年経済学部経済学科卒業  
元広報委員長

六田 哲夫氏  
昭和44年工学部電気工学科卒業・昭和49年工学研究科電気工学専攻修士  
元理事

**【支部関係】**

野田 宗義氏  
昭和37年工学部工業経営学科卒業  
元岩手支部副支部長  
大山 健二氏  
昭和43年経済学部経済学科卒業  
元岩手支部副支部長  
中川 良光氏  
昭和32年工学部電気工学科卒業  
元香川支部副支部長

小沢 悌氏  
昭和38年法経学部貿易学科卒業  
元岩手支部副支部長  
佐々木 範夫氏(故人)  
昭和44年工学部建築学科卒業  
元岩手支部副支部長・幹事長  
三谷 洋勝氏  
昭和43年法学部法律学科卒業  
元香川支部支部長・副支部長・事務局長・事務局次長  
安藤 力氏(故人)  
昭和26年電気科卒業  
元南足柄支部支部長・副支部長・事務局長  
小田 晃治氏  
昭和41年工学部機械工学科卒業  
神奈川大学写真研究部OB会支部支部長

**■特別表彰(表彰規程第2条第4号該当)**

**【本部関係】**

スケート部(スピード部門)  
第34回日本学生ショートトラックスピード  
スケート選手権大会 男子総合3位

# 準会員NEWS

## 村岡 拓哉選手 湘南ベルマーレに 入団内定

本学サッカー部の村岡拓哉選手(人間科学部・4年)が来季よりJリーグDV.2の湘南ベルマーレへ入団することが内定した。

村岡選手とサッカーとの出会いは小学校1年次。兄の影響で始めたというサッカーは、地元サッカーチームのコーチを務める父の指導のもと、続けてきた。本学にはスポーツ推薦で入学し、1、2年次には主要メンバーとして試合に出場していた。しかし、一見順調なサッカー選手時代を過ごしてきたかと思いきや、3年次の後期にはケガなどもあり、本来の力が十分に発揮出来ず、ベンチに座る時期もあったと語る。しかし、村岡選手は成長が止まっていた訳ではなかった。

村岡選手は2年次の3月、Jリーグと大学リーグ両方の試合に出場できる湘南ベル



マーレの指定強化選手に選ばれた。Jリーグでの出場機会こそなかったが、1カ月程度のスパンでプロの練習に参加しながら本学の練習にも参加するという慌ただしい日々を送る中、ケガや体調を崩す時期もあったが、その才能を関係者から評価され、4年次の6月に見事入団内定を勝ち取った。プロと大学では選手間のプレートの意識やトレーニング内容そのものが違い、戸惑う場面もあった。そんな中、プロになろうとした決め手は、幼少期からの夢だったサッカー選手になるという夢と、大好きなサッカーを続けていける環境があるからだと言語る。

「自分自身の成長のため、チームに貢献するために頑張りたい。」と語る村岡選手の更なる活躍に期待したい。

### プロフィール

- ◆氏名：村岡 拓哉
- ◆ポジション：フォワード
- ◆出身/生年月日：神奈川県/1990年7月24日
- ◆身長/体重：185cm/70kg
- ◆経歴：横浜F・マリノスプライマリー → 追浜→横浜F・マリノスジュニアユース → 追浜→日本大学高校→神奈川大学

## 市野 智之選手 全日本学生 パワーリフティング 選手権大会優勝

2012年6月10日に開催された文部科学省大臣杯争奪第39回全日本パワーリフティング選手権大会パワーリフティング男子105kg級で、本学ポテイル部の市野智之選手(経済学部・4年)が優勝した。

パワーリフティングと聞くとあまり馴染みのないスポーツだが、その実体はスク



ワット、ベンチプレス、デットリフトの3種目のトータルスコアで評価される競技である。評価基準はバーの重さや深さ、選手のしゃがみ具合等で、3人の審判員によって評価される。

市野選手はこの3種目のうちスクワットを最も得意としており、本大会では見事315kgのバーベルを持ちあげることに成功し、ジュニア新記録を叩き出した。

そんな市野選手は高校時代までバスケット部に所属しており、大学入学と同時にパワーリフティングの世界に入った。入部のきっかけは器具を使った筋力トレーニングをしたことがなかったからとのことだが、入部後は元々70kgだった身体を大きくするために、食事に気を付けた。体重の2倍9(140g)のタンパク質を摂るために時には1週間で5、6kgの鶏肉を食したこともある。また2年次の秋から個人的にジムへ通い、着実に力をつけてきた。翌年にはこの成果から、関東学生パワーリフティング大会で関東4位の成績を残している。今回の優勝を経て嬉しかったと語る市野選手は、卒業後は地元(浜松)に戻り、環境を整えば再びパワーリフティングをしたいと意気込みを話す。

ポテイル部には市野選手に続く選手育成に期待したい。

## 新3号館(仮称) 新築工事が始まりました 【横浜キャンパス】

横浜キャンパスでは、今年の1月より新3号館(仮称)建設のための工事が始まりました。

新3号館(仮称)は、地下2階地上4階で、講義室のほか、授業の合間に利用できる学習スペースや学生ラウンジを設ける予定です。

東側公開空地を残し、地域に開放されたキャンパスイメージを継承するとともに、日本常民文化研究所の展示スペースや創業者・大学史の展示ホールを設置します。完成(平成26年4月)の折には、是非、みなさんも足を運んでください。



# いざ、6年ぶりの熱田く伊勢路へ!!

## 秩父宮賜杯第44回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会 4位通過で本戦出場権獲得

11月に行われる学生三大駅伝の一つで、学生駅伝日本一を決める全日本大学駅伝対校選手権(熱田神宮く伊勢神宮の8区間106・08km)の関東地区選考会が、平成24年6月30日(土)に国立競技場で行われた。秋の駅伝シーズンに向けて、力が試される大会である。

梅雨時期の開催とあって、雨に当たるところの多い大会であるが、今年は快晴で好天に恵まれた。当日は中島学長をはじめ、大学職員や学生が来場し、また、宮陵会からも本部役員や体育振興委員会、多くの支部会員の方々に足を運んで頂いた。昨年は出場権まで22秒足りず、涙を飲んだ。そのリベンジを果たすべく、スタンドの一角に陣取った多くの卒業生達が神大の選手に大きな声援を送った。

選考方法は陸上競技場を用いた1万m走で、各組1校2名ずつ、計4組でレースを行い、8名の合計タイムの上位5校に本戦への出場権が与えられる。参加校は神大を含めて20校、箱根駅伝の常連校も多数あり、なかなかの狭き門である。

午後5時、1組目がスタート。後半まで集団でのレースとなったが、終盤には赤松選手(2年)が先頭を引っ張り、ラストスパートで抜かれたものの2位でゴール。福田選手(4年)も粘りの走りで15位となり、1組目が終了した時点でチームは4位と上々のスタート。2組目も吉川選手(4年)が3位、高久選手(4年)が12位と共に上位でフィニッシュし、2組目が終了して神

大は2位に浮上した。電光掲示板に途中経過が出た瞬間、スタンドはどよめきに包まれ、後半のレースに期待が高まる。

3組目は鈴木選手(4年)が苦しい走りとなったものの、大きくタイムを落とすことなく24位でゴール。西山選手(1年)は29分台中盤の力走で15位に入り、総合3位となったものの、6位の大学まで約1分のアドバンテージを持って最終組を迎えた。最終4組目は各大学のエース級の選手が登場し、山梨学院大の外国人選手がスタート直後から飛び出し、高速レースとなる。本戦出場権に手が届きつつある状況で、スタンドからは声が枯れるほどの声援が飛ぶ。我那覇選手(1年)、柿原選手(2年)は焦ることなく、堂々としたレース運びで18位、19位と並んでゴールに入った。

結果発表が始まり、「4位 神奈川大学」のアナウンスでスタンドは喜びに溢れた。総合成績は昨年よりも約1分短縮し、3時間59分10秒21。出場権は神大の他、山梨学院大、日本体育大、帝京大、東海大が獲得した。

上級生の意地と下級生の頑張りで6年ぶりの全日本駅伝出場を決め、「駅伝の神大」復活の狼煙を上げることができた。この結果を弾みにして、これからの合宿で更に走力と総合力を上げて、全日本大学駅伝での健闘はもとより箱根駅伝予選会突破、シリーズ獲得に向けても頑張っていきたい。

宮陵会の皆さん現地に応援に行こう!!  
(宮陵会体育振興委員会 委員 平出 功)

## 「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択される

**私**立大学が、各大学の経営戦略に基づいて行う研究基盤の形成を支援するため、研究プロジェクトに対して重点的かつ総合的に補助を行うことで、わが国の科学技術の進展に寄与することを目的とした、文部科学省の平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、理学部と工学部の教員で構成される研究プロジェクト「太陽光活用を基盤とするグリーン/ライフイノベーション創出技術研究拠点の形成」が、採択されました。

約4億5,000万円の事業費のうち、約2億円が国から助成されます。

本プロジェクトでは、太陽光を最大限に活用した水の分解と藍藻類による水素生産、及びそれらを利用した燃料電池の開発、更には太陽光利用に向けたバイオマス由来の炭化水素資源を有用物質へ変換するための高性能触媒の開発を行います。また、光合成を経由した生物の二次代謝産物を原料とする医薬品の創製やDNAの物性を利用した光電素子開発を行います。グリーン/ライフイノベーションの推進に資するために、このような物質開発と生物資源に基づく太陽光活用の基盤技術の開発により、低炭素社会を支えるクリーンエネルギーの創成及び豊かで安心な生活を支える医薬品などの有用物質開発の

ための技術革新の研究を5年間にわたり行います。

本プロジェクトメンバーは、理学部川本達也教授を中心に、理学部では野宮健司教授、堀久男教授、上村大輔教授、井上和仁教授、工学部では、内藤周次教授、引地史郎教授、小野晶教授、松本太准教授で、その他にも学内外の研究者の協力を得ながら、研究を推進します。

本プロジェクトは二つのテーマからなり、テーマ(1)「太陽光を活用したエネルギー変換システムの創製」では、「クリーンエネルギーの生産」、「高性能触媒による化学反応プロセス・エネルギー変換システムの開発」、「環境負荷物質の分解・再資源化」の三つの研究を、テーマ(2)「太陽光の利用を基盤とする潜在的生物資源の活用」では、太陽エネルギーの活用に基づく「創薬リードを指した有用藍藻類、鞭毛藻、ホヤ類の培養技術の基礎研究」、「藍藻類の大量培養による水素生産の基礎研究」、「DNAの物性を利用した太陽光活用材料の創成と開発」の三つの課題の研究をそれぞれ行い、最終的には、これらの研究を有機的、統合的に連携することにより、グリーン/ライフイノベーションのための革新的科学技術の創製を目指します。

平成24年度 事業計画抜粋・予算

- I 神奈川大学の進展と維持に必要な事業
  - 1. 神奈川大学教育振興事業
    - ① 神奈川大学事業協賛寄付等
    - ・ 大学一般公開講座の協賛
    - ・ ホームカミングデーへの協賛等
    - ・ 卒業祝賀行事の共催
  - ② 神奈川大学在学学生課外活動等支援事業
    - ・ 学生課外活動助成金(在学生特別事業)
    - ・ 学生課外活動助成金(体育振興事業)
  - ③ 神奈川大学「教育振興基金」への指定寄付
    - ・ 奨学金給付 第1号
    - ・ 課外活動奨励 第2号及び第3号
  - ④ 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付
  - ⑤ 神奈川大学へ東日本大震災罹災学生支援のための指定寄付
  - ⑥ 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
  - ⑦ 学校法人神奈川大学総務部校友課への協力
- 2. 宮陵会奨学金の給付・貸与事業
  - ① 給付奨学金
  - ② 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)
  - ③ 貸与奨学金
- II 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業
  - 1. 会員間の情報共有事業として、会誌「宮陵」61号の発行、「宮陵会報」94号・95号の発行他広報事業
  - 2. 会員の連携を深めるための事業
    - ① 支部の活動に対する支援、助成
    - ② ブロック会議への支援
  - 3. 組織基盤の確立ため、支部の設立、再建への支援
  - 4. 新入生(准会員)への記念品贈呈
  - 5. その他目的達成に必要な事業
- III 本部関係
  - 1. 法人会議
    - ① 平成24年度通常総会の開催
    - ② 代議員会の開催
    - ③ 理事会の開催 5回開催
  - 2. 一般社団法人への移行の準備
  - 3. 財政基盤の確立
    - ① 会費納入の促進
    - ② 「神奈川大学校友VISAカード」の入会促進及び提携店の拡大

平成23年度貸借対照表総括表

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	奨学金運用特別会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	234,669	0	234,669
普通預金	22,483,043	37,620,308	60,103,351
振替貯金	416,000	10,000	426,000
定期預金	50,000,000	80,000,000	130,000,000
貸付金	0	43,947,650	43,947,650
流動資産合計	73,133,712	161,577,958	234,711,670
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0	3,000,000
(2) 特定資産			
定期預金	186,994,339	0	186,994,339
有価証券	10,000,000	0	10,000,000
出資金	10,000	0	10,000
特定資産合計	197,004,339	0	197,004,339
固定資産合計	200,004,339	0	200,004,339
資産合計	273,138,051	161,577,958	434,716,009

科目	一般会計	奨学金運用特別会計	合計
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	895,982	0	895,982
前受金	68,000	0	68,000
流動負債合計	963,982	0	963,982
負債合計	963,982	0	963,982
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	272,174,069	161,577,958	433,752,027
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(197,004,339)	(0)	(197,004,339)
正味財産合計	272,174,069	161,577,958	433,752,027
負債及び正味財産合計	273,138,051	161,577,958	434,716,009

正味財産増減計算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

科目	一般会計	奨学金運用特別会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
財産運用益	1,430,955	0	1,430,955
受取会費収入	118,465,000	0	118,465,000
奨学貸付金回収	0	26,938,600	26,938,600
一般会計繰入金	0	30,000,000	30,000,000
雑収入	522,137	197,975	720,112
経常収益計	120,418,092	57,136,575	177,554,667
(2) 経常費用			
事業費	104,497,541	0	104,497,541
貸与奨学金事業費	0	29,040,000	29,040,000
管理費	23,421,303	0	23,421,303
経常費用計	127,918,844	29,040,000	156,958,844
当期経常増減額	△ 7,500,752	28,096,575	20,595,823
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	2,101,400	2,101,400
経常外収益計	0	2,101,400	2,101,400
(2) 経常外費用	30,000,000	0	30,000,000
経常外費用計	30,000,000	0	30,000,000
当期経常外増減額	△ 30,000,000	2,101,400	△ 27,898,600
当期一般正味財産増減額	△ 37,500,752	30,197,975	△ 7,302,777
一般正味財産期首残高	309,674,821	131,379,983	441,054,804
一般正味財産期末残高	272,174,069	161,577,958	433,752,027
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	272,174,069	161,577,958	433,752,027

平成24年度収支補正予算書総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	一般会計	奨学金運用特別会計	合計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
財産運用収入	149,000	0	149,000
会費収入	115,370,000	0	115,370,000
貸付金回収	0	19,000,000	19,000,000
一般会計繰入金	0	0	0
雑収入	440,000	30,000	470,000
事業活動収入計	115,959,000	19,030,000	134,989,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	150,303,000	0	150,303,000
貸与奨学金事業費支出	0	35,000,000	35,000,000
管理費支出	26,692,000	0	26,692,000
事業活動支出計	176,995,000	35,000,000	211,995,000
事業活動収支差額	△ 61,036,000	△ 15,970,000	△ 77,006,000
II 投資活動収支の部			
投資活動収入	20,000,000	16,000,000	36,000,000
投資活動収入計	20,000,000	16,000,000	36,000,000
投資活動支出	230,000	0	230,000
投資活動支出計	230,000	0	230,000
投資活動収支差額	19,770,000	16,000,000	35,770,000
III 予備費支出	30,903,730	0	30,903,730
貸付金充当	0	161,607,958	161,607,958
合計	30,903,730	161,607,958	192,511,688
当期収支差額	△ 72,169,730	△ 161,577,958	△ 233,747,688
前期繰越収支差額	72,169,730	161,577,958	233,747,688
当期繰越収支差額	0	0	0

# 津久井支部 第2回留学生招待バーベキュー大会を開催

私たちの津久井支部は恒例行事として毎年5月に道志川の河原でバーベキュー大会を開催しております。

昨年、吉野支部長の提案で「留学生を招待しよう」ということとなり、宮陵会事務局にお願いして学内にポスターを張っていただき留学生の募集をしました。この第一回の留学生招待BBQには中国人留学生R君をはじめ三人の応募がありました。お孫さんが中国語科の学生である関係か支部長夫人が我が孫のごとく接していたのを見て「脈」を感じました。「また来年もおいでね。」と別れましたが、本当に素直な良い子たちでした。そして今年の第2回留学生招待BBQは宮陵会事務局にお願いして、ポスターの掲示だけでなく国際センターから学生にメールで募集情報を流してもらいました。今年はどうかな？と半分不安でしたが、なんと定員10名のところが即日満員になってしまいました。それから申し込みが有り、結局定員オーバーの15人で締め切らせていただきました。メンバーは一年生から大学院三年まで、男女半々、国籍も中国、韓国、ロシアとさまざま。



当日、外国の地でもあるし遠路津久井まで全員が辿り着くかな？と心配もありましたが、なんとか集合地の三ヶ木のバスステーションに無事到着。当然去年のR君も少し大人になってやってきました。支部会員の出迎えの車で現地道志川の河原に着きました。なんと子供たちはバーベキューはそっちのけで河原に走り水遊びをはじめ、写真を撮ったり大はしゃぎ

でした。ようやくのことで子供たちを集めBBQを始めましたが「おいしい、おいしい」とオジサンたちが焼いたお肉を喜んで食べてくれました。全くの初対面なのに、何を話したか覚えていないくらいよく「おしゃべり」にもってかれて、私達招待側は感激、感激の大満足でした。数時間後お別れの時がきました。「またおいでね」「こんどは梨狩りもあるよ」と声を掛けて三ヶ木のバスステーションまで送りお別れしました。

ある「行事」を開催するにはそれなりに手間暇苦労がかかるものです。今回も宮陵会事務局、国際センターの職員の方には多大なご支援ご協力をいただき、支部会員の皆様にもご協力をいただきました。しかし、あの子供たちははしゃぎよう、笑顔をみたらすべてが飛んで行ってしまいます。残るのは「あーよかった」のみでした。感激でした。

支部活動は総会から始まり、「何人」という参加者の多少で一喜一憂してきました。しかし、今回の感激を経験すると、もう「支部内」の参加会員の多少にはこだわらずに、「母校や学生たちに、支部として何ができるのか」を考えた方がより有意義ではないかと思いました。

今回留学生たちに「プチ・レクリエーション」と「留学生間交流」をプレゼントできたのは私たちの喜びであり、これからの支部活動のひとつの指針として位置づけ、来年も再来年もと続けたいと思っております。

(津久井支部事務局)

## 本部だより

### ■会議予定等

平成24年8月1日 代議員選挙公示

平成24年10月1日～14日 代議員選挙立候補受付

### ■新支部長紹介

港南区支部 37経 照井 稔

### ■計報

謹んでお悔やみ申し上げます。

木村 隆男殿 (26・28法)

平成24年3月1日

岡本 担殿 (36経)

平成24年3月5日

柳田 斉昭殿 (41法)

平成24年3月26日

元函館支部支部長

齋藤 尚雄殿 (19商)

平成24年3月31日

代議員

## 平成24年度

### 課外活動支援特別奨学生採用者

平成24年度スポーツ課外活動支援特別奨学生が決定しました。

#### ■硬式野球部

経済学部経済学科 児玉 龍也  
人間科学部人間科学科 山原 泰士

#### ■陸上競技部

経済学部経済学科 井野 拓哉

### ■春の叙勲

旭日双光章を受章されました。  
北野 紘一氏 (39法) 理事  
瑞宝双光章を受章されました。  
藤田 欽也氏 (39法)

## 支部だより

### ◆今後の支部総会開催予定

9月1日(土) 2日(日)

神奈川大学体育会ヨット部OB会支部 (キョウコウ会)

ヨット部創立50周年式典、OBレース

9月2日(日) 大連支部総会

9月8日(土) 北海道ブロック会議 室蘭支部総会  
九州ブロック会議 大分支部総会

9月22日(土) 岐阜支部総会

9月29日(土) 東北ブロック会議 秋田支部総会

10月27日(土) 北陸ブロック会議 石川支部総会

10月28日(日) 山形県支部総会

12月8日(土) 秦野支部再建総会

宮崎支部総会

### お詫びと訂正

会誌「NO.61」表紙の裏面CONTENTSに誤りがありました。

深くお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

(正) 53 ●SKY総合法律事務所  
(誤) 53 ●SKY総合法律事務所

## 2012年度 課外団体 夏季合宿予定

2012年7月11日現在

団体名	日程	実施場所	施設名
アーチェリー部	8月13日(月)~20日(月)	長野県	アルペンブラザ
合気道部	8月9日(木)~15日(水)	長野県	フォーシーズン
アメリカンフットボール部	8月11日(土)~15日(水)	山梨県	山中湖総合合宿センター きくすい
弓道部	8月29日(水)~9月5日(水)	千葉県	山武荘
剣道部	8月20日(月)~27日(月)	秋田県三種町	丸富ホテル
ゴルフ部	8月1日(月)~9月20日(木)	群馬県	初穂カントリークラブ
サッカー部	8月6日(月)~9日(木)	茨城県	大利根荘
女子サッカー部	8月10日(金)~14日(火)	栃木県	那須スポーツパーク
水泳部	8月8日(水)~16日(木)	静岡県	静岡県湖西市立新居中学校
スケート部 アイスホッケー部門	9月上旬~中旬	北海道苫小牧	白鳥アリーナ
スケート部 スピード部門	8月12日(日)~16日(木)	長野県	帝産アイススケート トレーニングセンター
	8月25日(土)~28日(火)	長野県	帝産アイススケート トレーニングセンター
	9月19日(水)~23日(日)	長野県	帝産アイススケート トレーニングセンター
卓球部	8月26日(日)~29日(水)	群馬県	ホテルみさわ
軟式庭球部	8月25日(土)~28日(火)	山梨県	八木崎園
男子バスケットボール	8月8日(水)~20日(月)	北海道	稚内市総合体育館
女子バスケットボール	8月3日(金)~11日(土)	北海道	稚内市総合体育館
女子バレーボール	8月24日(金)~27日(月)	新潟県	柿崎ドーム
ラグビーフットボール部	8月19日(日)~24日(金)	長野県	山本館
男子ラクロス部	8月6日(月)~11日(土)	山梨県	大国館
女子ラクロス部	8月5日(日)~10日(金)	山梨県	向山ロッジ
陸上競技部	8月2日(木)~7日(火)	長野県	スポーツドミトリー
	8月7日(火)~12日(日)	長野県	リゾートロッジすずもと
	8月13日(月)~25日(土)	長野県	富士見高原研修所、 ジュネス八ヶ岳
	9月7日(金)~15日(土)	長野県	ホテルこわしみず
レスリング部	8月5日(日)~18日(土)	東京都	味の素ナショナル トレーニングセンター
カレッチサウンズ オーケストラ	8月6日(月)~10日(金)	静岡県	白雲楼
管弦楽団	9月1日(土)~6日(木)	長野県	スイスイン
ギターアンサンブル部	8月24日(金)~29日(水)	新潟県	ロッジカブ
混声合唱団クール・アンジェ	8月10日(金)~12日(日)	長野県	ホテルEveブラザ
写真研究部	8月6日(月)~8日(水)	栃木県	那須ビレッジ
ジャズ研究所	9月7日(金)~10日(月)	山梨県	なるさわ荘
神大フェスタ実行委員会	9月2日(日)~4日(火)	山梨県	伊予ロッジ
舞踏研究部	8月23日(木)~29日(水)	山梨県	至誠荘
漫画研究部	8月8日(水)~10日(金)	新潟県	ヴィラパーサー
ロスガトス	8月8日(水)~13日(月)	千葉県	夕日海岸ホテル 南総文化センター
シャトルズ	9月10日(月)~13日(木)	新潟県	ペンション タケコシ
湘弓Hand's	9月18日(火)~21日(金)	長野県	梓水苑
FLAT	8月2日(木)~8日(水)	静岡県伊豆市	わだつみ
Run.3♪	8月31日(金)~9月3日(月)	静岡県	御殿場市陸上協会
N.M.K	8月6日(月)~9日(木)	長野県	マルハンロッジ
神大ルーデンス	9月6日(木)~9日(日)	千葉県	年間民宿しんどう
作画研究会	8月20日(月)~24日(金)	神奈川県	ゆがわら 水の香里
軽音楽部	9月2日(日)~5日(火)	長野県	サンパティック北志賀 キャラバン
J A Z Z研究部	9月18日(火)~22日(土)	山梨県	未定
国際交流サークルABC	9月17日(月)~19日(水)	山梨県	未定

※横浜キャンパスおよび湘南ひらつかキャンパスでの夏季合宿予定は掲載していません。

### ホームカミングデー 開催のご案内

平成24年10月21日(日)  
12:00より

神奈川大学横浜キャンパス体育館にて  
\*当日クラス会等を予定される場合には  
教室が利用できます。代表の方は、  
名称・人数を予めホームカミングデー  
実施事務局までご連絡ください。

#### ■神奈川大学

ホームカミングデー実施事務局  
TEL 045-481-5661 (代)

### 神奈川大学図書館特別展 「宇宙開発の未来」

●期間 2012年7月20日(金)  
~9月30日(日)

●場所 神奈川大学図書館  
1F展示コーナー  
(横浜キャンパス)

みなさんも子供の頃、夜の空を見上げて輝く星々に思いを馳せ、いつか宇宙に行ってみたいと思われたのではないのでしょうか。今では、そんな夢も日本人宇宙飛行士達がロケットに乗って達成してくれています。でも、誰でもが激しい訓練に耐えてロケットで行ける訳ではありません。一方、NASAも注目している低コストで簡単に宇宙に行ける、もうひとつの輸送手段に宇宙エレベーターがあります。静止軌道の宇宙ステーションからテザーを地表まで垂らし、それを自走式エレベーターのように昇降するアイデアです。当初は夢物語でしたが、カーボンナノチューブという素材が発見されたことから可能性が高くなりました。しかし、課題は沢山あります。工学部の江上研究室では、その課題に挑戦し、毎年開催される宇宙エレベーター技術競技会にチャレンジしています。今回の展示では、それら挑戦の記録と宇宙エレベーターや宇宙開発の現状を紹介しています。



「Space Elevator Visualization Group」  
(画像提供 一般社団法人 宇宙エレベーター協会)